

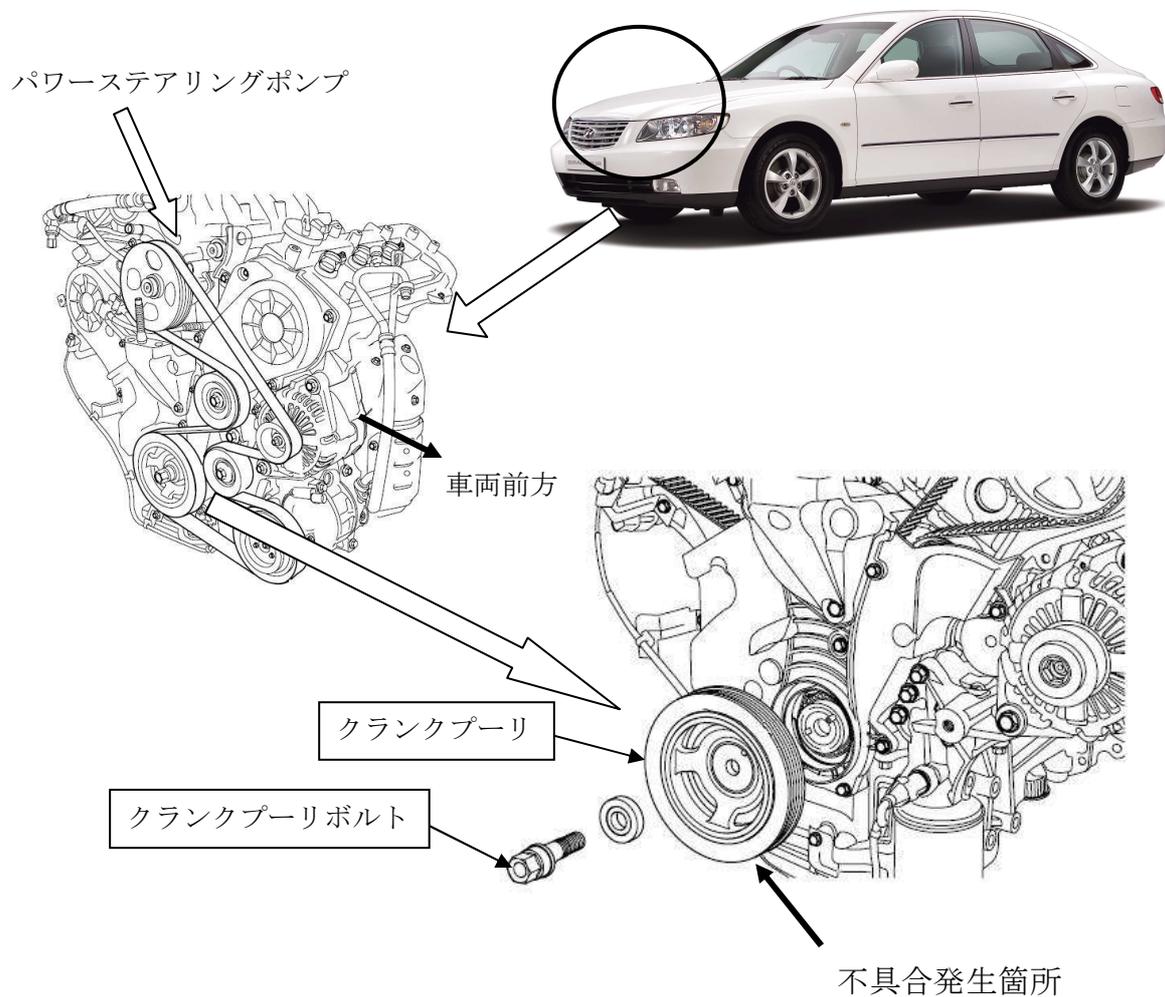
改善対策届出番号	388	改善対策開始日	平成21年11月27日
不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機クランクプーリの外側リング部において、表面処理が不適切なため、防振用ラバーとの接着が不十分なものがある。そのため、当該リング部と防振用ラバーが剥離し、当該リング部から異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該リング部が離脱し、パワーステアリングポンプが作動せず、ハンドルの操作力が増大するおそれがある。		
改善対策の内容	全車両、クランクプーリを良品と交換するとともに、クランクプーリボルトを新品と交換する。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、その旨を点検整備記録簿に記載する。 		

車名	型式	通称名	改善対策対象車の車台番号の範囲及び製作期間	改善対策対象車の台数	備考
ヒュンダイ	ABA-TG27L	グレンジャー LPI	KMHFC41MR7A177263 ～KMHFC41MR7A212280 平成18年11月1日～平成19年3月6日	235台	
合 計				235台	

改善対策対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
ヒュンダイ	ABA-TG27L	グレンジャー LPI	普通・乗用	箱形	L6EA(2,656)	

改善箇所説明図



注： は交換部品を示す。

不具合発生箇所

原動機クランクプーリの外側リング部において、表面処理が不適切なため、防振用ラバーとの接着が不十分なものがある。そのため、当該リング部と防振用ラバーが剥離し、当該リング部から異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該リング部が離脱し、パワーステアリングポンプが作動せず、ハンドルの操作力が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、クランクプーリを良品と交換するとともに、クランクプーリボルトを新品と交換する。

識別：手前側タイミングベルトカバー上部に黄ペイントを塗布する。